だいにちく

令和６年９月１日現在

総世帯数	1,363世帯
総人口	2,369人
男	1,138人
女	1,231人

時の流れ

中條東第四町会　田中　亜希

今年の夏も猛暑続き…

ここ何年も夏になると、涼を求めなければ過ごせない程刻々と気温も上昇し、真夏日猛暑日が当たり前になりつつあります。

子どもの頃、夏休みのプールと言えば、楽しみのひとつであり、用事や体調不良などで行けないとなれば、泣いてごねたものです。（笑）

今、この現代を過ごす子どもたち、親御さんにとっても長い夏休みの時間の過ごし方は、私たちの子どもの頃よりも大変なのではないかと、ふと思ったりもします。

日本本来の四季も、少しずつ変化をしているようにも感じますし、いつか春夏秋冬という言葉も、風情も感じられなくなるようで寂しく思います。

そんな中でも、今年は夏祭りが各地で盛大に行われたり美味しい出店で食べ歩いたりコロナを境に大きく変化した時間が、少しずつ取り戻せているような気分にもなりました。失ってしまった時間は取り戻す事はできないけれど、新たな時間を積み重ね、家族、友人、恋人など素敵な夏の思い出を作れたらいいなぁと切に願います。

我が家は1歳の姪と95歳の祖母がおり、貴重な時間を育くんでいます。

昭和生まれと令和生まれ。生まれた時代は違えど、確かに同じ時を過ごし、お互い私達には分からないような空間でコミュニケーションを取っています。見ていると、とても微笑ましく面白いです。

この時間はとても大切で、曾孫と曾祖母、ともに元気で健やかに過ごして欲しいと思います。

時の変化に流される事なく今を大切に。

天神祭りと小池町の子ども達

小池町町会　鴻田　康子

小池町の中学生とお母さんから子どもの行事と子ども会の運営にまつわる思い出を寄稿していただきましたのでご紹介します。

◆小池町で過ごした6年間

上條　穂華

3年生の終わり頃・コロナという病が流行ったせいでこの3年間は地区では何も行事が行えなかった。でも思い返せば、私が1・2・3年生だった頃は地区の行事が盛んだった。春には1年生をむかえる会、夏には舞台に乗って太鼓の演奏、また青山様。冬には二九郎。そして6年生を送る会。その時は地区の友達とも年れい関係なく仲良くできた。もしコロナがなかったら今の地区の子達とも何か思い出が作れたのかな、とふと思う。

低学年の3年間でしかできなかった行事のなかでも特に印象に残っているのが天神祭りだ。天神祭りでは昼に舞台に乗り、太鼓を演奏しながら周る。この行事をするといよいよ夏が始まったという気がして、なんだかウキウキした。さらに天神祭りの最後の夜に子ども達みんなで夕食をたべたのも一つの楽しい思い出だ。その練習のために休日に太鼓のレッスンがあったりと大変な事もあったけど、ふり返ればいい経験だった。

これらをまだ経験していない下級生たちにも、この先の小学校生活で子ども会の思い出として心にうかぶなにかができればいいなと思う。6年間ありがとうございました。

◆小池町子ども会運営によせて

上條　藍

娘が1年生として入学する一ヶ月前、親子で歓送迎会に出席させてもらったのが小池町子ども会との出会いでした。当時の5年生が司会進行をしっかりつとめ、6年生たちがひと言ずつあいさつをしている立派な姿を見て小学校の6年間という歳月は子ども達の成長にとってとても大きい時間なのだと感じたことを覚えています。その後親子で子ども会の季節ごとの行事を体験していくのですが、思いおこせばその折々で子ども達が学年の枠を越えて一緒に遊んだり、おしゃべりする姿がありそれはとてもほほえましい光景でした。

ところが、突如としておこったコロナ禍により、高学年となった娘はこれまでの子ども会行事がほぼ無いなかで卒業まで過ごすこととなりました。それでも集団登下校などで子ども達同士は顔を合わせる機会があり、多少の交流はあったようですが、保護者同士の交流機会が無くなってしまったのは残念な事のひとつです。ただ、子ども数の減少に加え、それぞれの仕事なども抱えたなかで、保護者たちが今後どのような形で子ども会を運営していくのかを考え直すいい機会でもありました。伝統的な良い面を残しつつも、効率化できる部分は時代のスタイルに合わせていく事が必要だと、役員をさせていただき感じました。ありがたいことに、小池町親町会の皆様には子ども会の意思を尊重してくださる温かさがあります。今後、町会の皆様のご理解、ご支援もいただきつつ、持続可能な小池町子ども会の新しい形が築かれていくことを願っています。

第23回盆踊り大会

令和6年8月12日
深志神社境内にて

戸隠三社を巡ったウォーキング＆自然観察会

８月21日に戸隠三社を巡るウォーキング大会を行いました。標高約1,300mの戸隠神社奥社の参道は両側に杉が立ち並び、標高が高い分、松本平とは異なっている植生について講師から説明を受けながら自然観察も行いました。

「奥社までもう少し…」という所から始まる階段に苦戦しながら奥社と九頭竜神社に参拝し、中社へはバスで移動して三社を巡りました。

「それぞれのペースで無理しないように」というのを合言葉に開催したウォーキング大会、参加者27名は参道の自然と多少なりとも涼しく落ち着いた雰囲気を満喫しながら歩いていました。

奥社参道にて ～随神門～

すすき川

令和５年４月から町内の四柱神社と深志神社の氏子総代をやることになりました。昨年は四柱神社、今年は深志神社の年番が回ってきました。四柱神社では会計を担当し、各町内氏子総代が集めてきた神道祭の奉賛金を集金する仕事でした。

各町内一覧表をみると氏子をやめた町会も多数あり、奉賛金集めと氏子総代のなり手不足が一因とのことです。

深志神社の境内は毎年第二地区の盆踊り大会でお世話になっています。

48氏子町会でも総代の欠員が複数町会あり、町会役員同様になり手不足で、町会長兼務の皆様には頭が下がります。私は四柱神社で挙式してから結婚指輪をしていましたが、ここ数年指輪が抜けなくなり、今年貴金属店の女性から優しく薬指のマッサージを受け、ようやく外してもらい、サイズを大きくしました。

結婚した日付の刻印から金婚式までの年数も分かり、今まで子や孫の祝いに、地区の氏神様にお世話になってきました。これからも大切にしていかなければと思います。（筒井）